第９期第２回中地区公民館運営審議会　　会議次第

日　時　令和 6 年 2 月 16 日（金）午前 10 時～11 時 30 分
会　場　中地区公民館　4 階　講座室

１　開　会

２　議　事

（１）令和６年度事業に関する委員提案について・・・ 資料１
※提案内容について委員から説明をお願いします。（１分程度）

（２）令和６年度事業計画について・・・・・・・・・・ 資料 2-1, 2-2

３　その他

４　閉　会

資料1

令和６年度事業に関する委員提案

（石井委員）	
事業名（仮称）	新潟の女性たち
内容	・社会の中で女性たちが置かれている状況、女性たちが抱える問題を考える。 ・女性問題に関わってきた人・団体から、歴史を学ぶ。
目的・趣旨	日本のジェンダー指数の低下が注目される中、新潟の女性たちは、戦後から現在に至るまで、地に足を着けた活動を数十年にわたって続けてきている。その歴史を学ぶことで、現在及び未来の女性の問題を考えることは、社会教育の目的にかなうと考える。
その他補足説明	－
公民館から	両公民館ともに、５月と６月で開催した乳児期家庭教育学級の中でジェンダーの内容を取り上げました。令和６年度も同事業の中で実施予定です。

（遠藤委員）	
事業名（仮称）	手作り防災グッズ
内容	①ダンボールを使った防災グッズ（イス・トイレなど） ②新聞紙を使った防災グッズ（スリッパ・クッションなど） ③ペットボトルを使った防災グッズ（食器・シャワーなど） ④その他かんたんに作れる防災グッズ（レインコート・オムツなど）
目的・趣旨	自然災害が多い中、身近なもので誰でもすぐに出来る防災グッズの作り方を学んでいただく。 避難場所や避難経路をあらかじめ確認しておくことで、いざという時に何が必要かわかる。
その他補足説明	－
公民館から	中地区公民館では、１１月に山の下中学校で２年生を対象に、東区総務課と共催で「ジュニア防災教育」事業を開催しました。令和６年度も実施予定です。

（海津委員）①	
事業名（仮称）	あなたの服は役に立つ
内容	学校・企業・地域 ①難民の今、そしてこれからを知る。…グローバルパートナー企業は、学校（小・中・高）への出前授業（難民問題の周知と服の役割について学ぶ）を行っています。 ②服を届ける。…生徒が自主的に服の回収を行う活動。仕分け作業

	など企業も協力する。 ③知り、学び、体験する。…目的も分からないまま服の回収に協力は出来ません。まず難民問題に関心を持っていただき、回収への自発的な動機をもっていただく。難民生活とは？難民の願いは？難民にとって服の役割は？等を学ぶ。ユニクロで職場体験も。
目的・趣旨	私たちの毎日にとって衣服は欠かすことのできないものの一つです。衣替えで不用になった衣類を整理した方も多いかもしれませんが、ちょっと考えてみてください。 内戦や迫害、災害から逃れるために母国を離れなければならなかった人をデータで調べると膨大な数に膨らんでいます（2016 年で 6,000 万人以上)。着の身着のまま国境を越え、時には命がけで海を渡る難民と呼ばれる人たちの半分以上が子どもたちです。元気で成長の早い子どもたちは、より多くの服を必用としています。昨年、国連高等弁務官事務所からグローバルパートナー企業（ユニクロ）へ要請のあった子ども服は約 200 万着。まだ目標の 63%だそうです。あたなの服を待つ、子どもたちがいます。
その他補足説明	―
公民館から	両公民館施設ともに、社会福祉法人新潟もぐら会が活動として販売しているウエスの材料となる古着回収の場所を通年設置しています。また、中地区公民館は、新潟市社会福祉協議会が「制服リユース活動事業」会場としても利用されています。

（海津委員）②	
事業名（仮称）	未来へ繋ぐ食と農
内容	学校・企業・地域 ①学校田や畑で汗を流している子どもたちに、もっといきいき楽しく育めるように、頑張っている農家さんや料理人さんの話を聞く機会をつくる。→食育 ②地域で花や緑を楽しんでいる方も多く、子どもと一緒に楽しみながら実技指導・観察会の実施は、定期的な開催＆内容の工夫で繋がりを深めます。 ③「フードバンク」・「子ども食堂」の活動目的や運営の多様性を知る。県子どもの貧困実態調査結果を読み解く（困窮経験について食料では 15.5%、衣服では 22.6%など）。 映画「０円キッチン」の鑑賞など。
目的・趣旨	広い平野と豊かな自然環境に恵まれた新潟市は、米や野菜・果樹など食の宝がいっぱいです。平成 26 年は国家戦略特区に指定され、Ｇ７新潟農業大臣会合が開催されました。また、市内には、「産地

	直送」、「地産地消」で野菜の産地と農園をＰＲするグルメスポットもたくさんあります。農家さん・料理人さんとの交流は、大地の恵みに感謝し、地域にある豊かな食文化の理解に繋がります。 「朝ごはん」をちゃんと食べているか？給食の残飯量はどうか？など食の問題への理解も必要です。2015 年頃から貧困格差問題がクローズアップされ、米どころ新潟でも明日のコメに事欠く人がいること、平成 28 年度一気に増えた「子ども食堂」は、身近にいるかもしれない食に困っている子どもを支援する活動です。
その他補足説明	ー
公民館から	③石山地区公民館では令和５年７月に「お互い様ネット石山」講座の４回目に東区の子ども食堂の現状と課題について学ぶとともに、令和６年３月に日本の代表的な食品で発酵食品の「味噌」を作る研修会を予定しています。

（海津委員）③	
事業名（仮称）	地域の魅力
内容	学校・企業・地域 ①地域の歴史、郷土の民話の調べ学習をする。内容を基に紙芝居を制作する。 ②小・中で協力して制作した作品（紙芝居）を地域で発表する。福祉施設なども可。
目的・趣旨	新潟市の歴史は新潟市の地形からきています。新潟の地形の成り立ちは、川と海と潟、砂と風という自然史的なことから考えます。信濃川と阿賀野川の土砂が広大な三角州を形成し、曲がりくねった河川が広大な湿地と大小の潟をつくりました。10 列にも及ぶ新潟砂丘ですが、東区の歴史は新砂丘Ⅱ期、信濃川と阿賀野川と砂丘が作り出した歴史であることを理解する必要があります。新潟市に人が住み始めたのは 6000 年前の縄文時代前期です（江南区笹山前遺跡）。渟足柵が置かれたのは大化３年。大正時代の大河津分水完成まで新田開発の歴史は、洪水被害常習地域の歴史でもあったのです。劇的な変化は、第２次世界大戦後、農地改革、耕地整理、土地改良、栗の木排水機場の設置など乾田化による美田地帯の形成を待たなければでした。その後、度々の合併を経て昭和 30 年代地域は新潟市のベッドタウンとして市営・県営・分譲宅地として人口も増加していきました。「水とともに生きる」新潟の歴史を考えます。また、学校の図書館には、新潟の民話がたくさん収められた本があります。地域のお年寄りから、幼いころ聞いた昔話もお聞きできる

	かもしれません。
その他補足説明	ー
公民館から	石山地区公民館では地域の歴史や文化を学ぶ講座を開催しています。令和６年度も実施します。 中地区公民館では地域の歴史学習サークルと共催で「地域のたから再発見事業」としてまち歩きを６月と９月に２回開催し、実体験を通じた学習に取り組みました。令和６年度も実施予定です。

（齊川委員）	
事業名（仮称）	家庭教育学級「子育て・孫育て」 現代的課題「親子で学ぶプログラミング」 体験学習の推進「楽しい料理教室」
内容	〈子育て・孫育て〉 子育ては大変。でも祖父母には預けたくないという若夫婦。育て方の違いが気になるのか。互いに理解しあえる家庭教育学級があるとよい。 〈親子で学ぶプログラミング〉 スマホはいじれてもプログラミングとなると少しさけたくなる。しかし親子で簡単に学べるプログラミングを習う機会があるとよい。 〈楽しい料理教室〉 「そば打ち」は難しいけれど「うどん打ち」は割と簡単。「パンケーキ」なら楽しいトッピングも可能。春巻きの皮で作るピザトーストも楽しい。
目的・趣旨	〈子育て・孫育て〉 昭和と平成とでは子どもの育て方に違いがあるという。しかし各々の時代の良さを互いに理解しあうことも大切。本音で語り合える機会があるとよいのでは。 〈親子で学ぶプログラミング〉 子どもたちにタブレットが配付され、学校ではプログラミング学習が開始されている。親子で簡単に学べるプログラミングがあるとよい。 〈楽しい料理教室〉 コロナも落ち着いてきて、親子で料理を体験することも良いと思う。「うどん打ち」や「パンケーキづくり」等々、楽しくておいしい料理を作れるとよい。
その他補足説明	ー
公民館から	中地区公民館では、９月に桃山コミニティ協議会と協働で「親子料理教室」を桃山小学校にて開催しました。令和６年度も実施予定

	です。

（佐藤委員）	
事業名（仮称）	公民館文化祭・サークル体験会について
内容	・地域の学びの場にもっと気軽に足を運んでもらうため、上記の事業をよりパワーｕｐさせる。 ・文化祭を開催しつつ、他のサークルや公民館事業についてもお知らせ、サークルの体験日などをわかりやすくお知らせし、足を運びやすくする。また、チラシやリーフレットの配布など。 見学フリーday、教室の雰囲気を見てもらう、質問に答えてもらう。
目的・趣旨	・定年退職された方、おひとりさま暮らしの方が社会と結びつく何かを見つける手助けに。 ・小・中学校の部活動の地域移行への土台として、地域で学んだり、楽しく活動している方々を知り、サークル活動と部活動融合への足がかりとなるのではないか。
その他補足説明	文化祭後に、活動の様子がわかるおたよりの発行、年間計画、新規の募集を含めＰＲ活動をし、回覧板や、ポスター、東区だよりなど、多くの人の目に触れる機会があるといいなと思います。
公民館から	両公民館ともに、気軽にサークル活動を体験してもらう・サークルの活性化のために「公民館へ行ってみよう！」などを開催しています。令和６年度も実施します。 中地区公民館では文化祭（展示部門）チラシを事前に自治会回覧を行い、サークル活動の周知に取り組んでいます。 今年度の新たな取り組みとして、両公民館合同の「第１回東区公民館音楽芸能発表会」を東区プラザで開催し、１６団体が参加しました。引き続き令和６年度も実施します。

（永井委員）	
事業名（仮称）	①我が家でできるＳＤＧ’ｓ講座 ②我が家でできる健康講座 ③親子で簡単クッキング
内容	①ＳＤＧ’ｓの基本と、リサイクルや節電など自宅で取り組める取組みについて学ぶ。 ②自宅でできる体操や熱中症対策、免疫力アップ、認知症予防等について学び、実施する。 ③簡単にできるおかずやデザートづくりを、親子で協力して行う。

	食材や調理法についての豆知識も学ぶ。
目的・趣旨	①社会問題となっていることを自分事として捉え、自分から社会を変えていくという意識を醸成する。 ②健康な生活を自分で維持するための知識と方法を知り、これからの高齢社会を健康に、楽しく生活できるようにする。 ③料理を通じて、親子で協働する喜びを体験するとともに、子どもの自立や偏食の改善を促す。
その他補足説明	①「持続可能」とともに「節約」をキーワードとして、生活費の支出抑制を実感できるような内容としたい。 ②シリーズ（連続講座）として、講義だけでなく実技等を併せて行う。自宅で無理なく行えるものを基本とする。 ③子どもは未就学児～小学校低学年を基本対象とする。親が中心となって行うのではなく、「協力」をキーワードとして調理を行う。
公民館から	① 石山地区公民館では６月に「ご近所だんぎ」でゴミの分別等について学ぶ講座を実施しました。令和６年度も持続可能な世界を実現するための身近な取り組みについて学習する講座を検討していきます。 ② 石山地区公民館では７月に認知症について学ぶ講座を開催しました、また、１月に認知症予防のための脳活ゲームやレクリエーションダンスを体験する講座を実施しました。令和６年度も実施します。 中地区公民館では高齢者の居場所「ちいきのサロン」で、自宅でできる体操や熱中症対策など、サロンの流れの中で取り入れています。令和６年度も実施します。 ③ 中地区公民館では子どもの年齢制限は設けませんでしたが、９月に桃山コミニティ協議会と協働で「親子料理教室」を桃山小学校にて開催しました。令和６年度も実施予定です。

（野本委員）	
事業名（仮称）	①食べ切りレシピ ②子ども料理教室
内容	①食品ロスについて、専門家等による講演をしてもらう。さらに食品ロス問題について考えてもらう機会とし、「食べ切りレシピ」の募集を行い、参加者にはいくつかのレシピを実践してもらう。 ②簡単でおいしい料理を先生の教わりながら、夏休みにお母さんのために料理を作って、楽しく食べられるような教室にしてもらう。
目的・趣旨	①改めて食べ物の大切さなどを認識してほしい。 ②夏休みのお母さんの負担軽減とお母さんに料理を作って喜んで

	もらうことで、料理づくりのきっかけにしてほしい。
その他補足説明	①対象は小学校高学年から中学生まで ②対象は小学校高学年から中学生まで
公民館から	中地区公民館では子どもの年齢制限は設けませんでしたが、９月に桃山コミニティ協議会と協働で「親子料理教室」を桃山小学校にて開催しました。令和６年度も実施予定です。

（坂内委員）	
事業名（仮称）	正しいＳＮＳ・スマートホンの使い方
内容	・保護者、児童・生徒、地域住民対象 ・ＳＮＳを通じたトラブルや犯罪が起こっている。 ・トラブルや犯罪の事例を通して正しい使い方を知る。
目的・趣旨	・児童・生徒には事例を通して安全で、トラブルや犯罪に巻き込まれないための正しい情報発信、未然防止につなげる。 ・保護者、地域住民へは、家庭教育の責任者として、子どもとのかかわり方や、どのようにしたら正しく安全な使用ができるのかを知る。
その他補足説明	・講師を依頼する。 ・学校と共催で行い、連携を取って開催することも視野に入れる。
公民館から	令和３年度に小中学生とその親を対象に中地区公民館で「自分を守る！大切な人を守る！ＳＮＳの安全な使い方」講座を開催しましたが、各小中学校でも同様な行事をされているが分かりましたので公民館で事業は行っていませんでした。今後、学校と共催での開催も検討します。

（古川委員）	
事業名（仮称）	①中高齢者を主な対象とした初級パソコン・スマホ教室。 パソコン・スマホ教室は民間にも数あるが、有料であったり、機器の販売を含むものも多く、習いたいと思いながら躊躇している人も多いのではないか。但し教材用のパソコン等の確保が難しい。多数のパソコンのある施設の利用の可能性も考える。 ②資産（マネー）教室 現在の経済に関する仕組みは複雑で専門知識を持たない人には難しすぎる。一方、貯蓄以外の初心者向けの資産運営を利害関係なしで教えるところがない。年代に関わらず需要があると思う。 ③現在の社会制度（政治、経済、福祉等）について これまで学習する機会を持たなかった人は多い。学校ではほとん

	ど教えないし、報道等では断片的な情報だけしか伝えないために、簡単な法律や制度も知らない人が多い。身近な制度の情報を学ぶ機会にしてはどうか。 ④子どもたちや10代～30代の若年層を対象としたボランティア養成講座。 理念だけではなく、実際の現場で学び、社会とのかかわりの大切さを学ぶ。 ⑤子どもたちが自信の将来の進路について、考える参考になる講演会、座談会や見学会。 大人はどうやって自分の進路を決めたのか、決められなかったのか。夢を現実の目標に変える方法を学ぶ。 ⑥地域の成り立ち・歴史や現状についての講座、討論会
内容	
目的・趣旨	（考察） 生涯学習を希望する人は、少なからず存在する。 子ども達（小・中・高生）の中でも学校では教えないことに興味を持っている子どもは、少なからず存在する。 60 歳を超えた方で、仕事以外の時間に少し余裕がある方やフルタイム以外の仕事形態の方や、30代後半～50代の子育てに手がかからなくなった方等も知識に対する興味は持っている。様々なライフステージに応じて、様々な学習ニーズがある中で、大学の社会人講座の様な高度な内容のものは、公民館では不要。それに至るきっかけになれば良い。 また、民間のカルチャーセンターではできないこと（収支の制約を含めて）や地域コミュニティの文化サークル（公民館利用団体を含む）ではできないこと、いわゆる趣味の世界ではないことを公民館で行ったらどうか。
その他補足説明	１．①、②は需要が多いのではないか。③、⑥は案外知らない人が多い。 ２．いずれの案にも共通して、机の上の難しい学習だけではなく、笑いが起きるような楽しい講座にしなければ、リピーターが来ない。そういう意味でバス等を使った館外学習は、とても有効で、バスに乗るだけでも楽しく感じると思う。
公民館から	①　両公民館ともに企業と共催で「シニアのためのスマホ講座」を開催します。令和６年度も実施します。 ③　石山地区公民館では社会福祉協議会と連携して福祉等について学習する講座を開催しています。令和６年度も実施します。 ⑤　中地区公民館は山の下中学校、石山地区公民館は東石山中学

	校、石山中学校、中央区山潟中学校の２年生の職場体験を受け入れました。また、桃山小学校と中野山小学校の特別支援学級在籍児童のジョブコミュニケーション（仕事体験を通じてコミュニケーション能力を高め、生きる力をつけるプログラム）を受け入れました。 ⑥ 石山地区公民館では地域の歴史や文化を学ぶ講座を開催しています。令和６年度も実施します。 中地区公民館では地域の歴史学習サークルと共催で「地域のたから再発見事業」としてまち歩きを６月と９月に２回開催し、実体験を通じた学習に取り組みました。令和６年度も実施します。

（良知委員）	
事業名（仮称）	今ある子ども学習会、ホットプレイス、高齢者の学習支援等の充実
内容	子どもから高齢者までの世代に応じた学びの場の充実 安心して過ごせる場所の提供支援 また、利用者からの意見が聞ける方法（意見箱等）
目的・趣旨	ー
その他補足説明	私の孫達も公民館でテスト勉強等、よくしております。集中できて、とても勉強しやすいと言っております。より多くの方にその様な場所が在る事を知って頂きたいです。
公民館から	石山地区公民館では学習室を開設し、子どもから高齢者までの世代に応じた学びの場を提供しています。また、安心して過ごせる場所として談話コーナーを設置しています。利用者の皆様から公民館に気軽に意見を言える雰囲気づくりに努めていきます。 中地区公民館は、６年度から長期休暇期間だけでなく通年での学習室開設を検討しています。その他に、子どもたちの長期休暇期間には「子ども学習会」を開催し、親も子どもも公民館は安全で気軽に来やすい場所だという認識をもってもらいたいと考えています。

令和6年度事業計画　 中地区公民館

中地区公民館

資料2－1

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	回数	実施予定月	時間帯	連携				備　考
								市・区	学校・地域教育コーディネーター	地域コミ協等	運審委員・活動協力員・ボランティア	
1　人づくり、地域づくりを通した地域コミュニティ活動の活性化への支援	1	山の下地区・桃山校区コミュニティ協議会共催事業 「夏まっさかりフェスタ」	地域住民の交流を目的に、山の下・桃山地区コミュニティ協議会と共催し、地域との関わりを深めるため、子どもとその保護者向けのイベントを開催する。	総合	1	7月	午後			○	○	山の下地区コミュニティ協議会、桃山校区コミュニティ協議会
	2	山の下地区・桃山校区コミュニティ協議会共催事業 「親子工作体験」	地域住民の交流を目的に、山の下・桃山地区コミュニティ協議会と共催し、地域との関わりを深めるため、親子で参加できる工作体験を開催する。	総合	3	11～12月	午後			○	○	山の下地区コミュニティ協議会、桃山校区コミュニティ協議会
	3	桃山校区コミュニティ協議会共催事業 「親子料理教室」	桃山校区コミ協と共催で親子料理教室を開催する。	総合	1	9月	午前		○	○	○	桃山校区コミュニティ協議会、食生活改善推進員、桃山小学校
	4	下山地区コミュニティ協議会共催事業 「夏休み下山映画まつり」	下山地区コミュニティ協議会と共催し、地域の子どもたちと大人が情緒豊かに、あたたかい気持ちで過ごせるような映画を上映する。	総合	1	8月	午前			○		下山地区コミュニティ協議会
	5	東山の下地区コミュニティ協議会共催事業 「映画観賞会」	東山の下地区コミュニティ協議会と共催し、地域の子どもたちと大人が情緒豊かに、あたたかい気持ちで過ごせるような映画を上映する。	総合	2	6月・11月	午後			○		東山の下地区コミュニティ協議会
	6	地域のたから再発見事業「大形まちあるき」	「大形ちいき楽会」と連携し、参加者が地域への関心を高め理解を深める内容のまち歩きを実施する。	総合	1	9月	午前				○	大形ちいき楽会
	7	地域のたから再発見事業「山の下・桃山の昔のはなし」	「中地区地域楽」と連携し、小学生に地域の歴史について学ぶ会を開催する。	少年	1	2月	午前		○		○	中地区地域楽、桃山小学校
	8	地域のたから再発見事業「ガイドマップ作成」	東区の歴史サークルと連携し、ガイドマップを作成する。	総合	6	4～9月	午前・午後			○	○	東区歴史サークル情報交換会、各コミュニティ協議会
2　家庭における教育力向上の支援	9	乳児期家庭教育学級（第1期） 「ゆりかご学級」	乳児期の家庭教育について考える。保護者対象の連続講座を開催する。	成人	4 連続講座	5月	午前					
	10	幼児期家庭教育学級	幼児期の保護者の学びと交流の場。保護者対象の連続講座を開催する。	成人	4 連続講座	6月	午前				○	企画委員
	11	親子のびのび広場	幼児期の保護者の学びの場として、また子どもの成長の場として親子遊びを実施する。	総合	1	11月	午前					
	12	保育者連絡会	各事業の保育室運営を円滑に行うための、保育者との情報交換会を開催する。	成人	1	4月	午前					
	13	子育てサロン「ひだまり」	ボランティアスタッフの協力により、保育室を会場に未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供。保健師の育児相談や絵本の読み聞かせなどを実施する。	総合	自由参加	通年	午前	○			○	山の下図書館、東区健康福祉課、ボランティアスタッフ
3　青少年の生き抜く力を育む機会の充実	14	少年体験事業 「きらきらチャレンジ」	体験活動を通して自ら考え、取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。	少年	2 毎回募集	8月・1月	午前					
	15	少年体験事業 「大形ぼてっ子サークル」	体験活動を通して自ら考え、取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。	少年	1	8月	午前		○		○	新潟県立大学学生、大形中学校
	16	子ども学習会（夏休み・冬休み）	長期休暇中も規則正しく過ごす習慣をつける、宿題をやりきることで、休暇終了後に自信を持って学校に行けることを目的に、夏期・冬期に開催する。	少年	8 連続講座	7月～8月、12月	午前				○	新潟県生涯学習協会
	17	桃山小学校サークル活動体験会	桃山小学校3年生が公民館について理解を深める課外学習で、公民館で実際に活動しているサークルに協力してもらい、活動を体験する。	少年	1	6月	午前		○		○	桃山小学校、中地区公民館使用団体連絡協議会
	18	親子体験教室「防災」	小学生の親子を対象に、防災教室を実施する。	総合	1	6月	午前					

令和6年度事業計画　中地区公民館

資料２－１

中地区公民館

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	回数	実施予定月	時間帯	連携				備考
								市・区	学校・地域教育コーディネーター	地域コミ協等	運審委員・活動協力員・ボランティア	
	19	青少年の居場所事業 「ホットプレイス」	公民館に学校や家庭以外の「空間」を設け、地域の大人と子どもがふれあうフリースペースを提供する。	青年	自由利用	通年	午前・午後・夜間		○			山の下中学校美術部
	20	学習室開放事業	青少年の個人学習の支援を目的に、公民館の会議室を学習スペースとして提供する。	青年	自由利用	通年	午前・午後・夜間		○			山の下中学校美術部
4　高齢者の学習支援や社会参加の促進	21	ちいきのサロン「この指とまれ」	中高年の社会参加を促し、経験や能力を生かすことにより、地域の輪を広げるとともに、生きがいを持つことを目的とする。公民館版「地域の茶の間」。	高齢者	12 自由参加	通年	午前				○	ボランティアスタッフ
	22	アクティブシニア講座	健康づくり・生きがいづくりなどをテーマに、高齢者が生き生きと生活できるための連続講座を開催する。シニア世代を中心に幅広い世代が交流できる講座とする。	高齢者	3	10月～11月	午前					
	23	シニア向けスマホ教室	電話・メール・インターネット検索などの簡単な操作方法を学び、スマホを活用できるようにする。	高齢者	2	6月・7月	午後					
5　現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供	24	山の下中学校「ジュニア防災」	山の下中学校及び山の下コミ協等と協働し、地域の将来を担う中学生に防災教育を実施し、地域課題の解決に資する人材を育成する。	少年	1	11月	午後	○	○	○		山の下地区コミュニティ協議会、山の下中学校、東区総務課
	25	オンライン活用講座	デジタルデバイドの解消に向け、オンラインを活用した講座を開催する。	総合	2	11月・3月	午後					
6　その他	26	公民館文化祭	サークルの活動の発表の場として、作品展示を開催する。	総合	3 自由参加	10月	午前・午後		○		○	中地区公民館使用団体連絡協議会、東特別支援学校
	27	東区公民館芸能発表会	サークルの活動の発表の場として、東区の公民館合同で芸能発表会を開催する。	総合	1 自由参加	10月	午前・午後				○	中地区公民館使用団体連絡協議会
	28	サークル体験会	自主グループの活動育成強化月間を設け、体験会の開催により活動を支援する。	総合	1 自由参加	3月	午前・午後・夜間				○	中地区公民館使用団体連絡協議会
	29	自主グループ育成事業	自主グループの活動育成を支援するため、体験会や発表会の実施について広報や助言等を行う。	総合	1	随時	午前・午後・夜間				○	中地区公民館使用団体連絡協議会
合計					65							

令和6年度事業計画　　石山地区公民館

資料２－２

石山地区公民館

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	回数	実施予定月	時間帯	連携				備考
								市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運審委員・活動協力員・ボランティア	
1　人づくり、地域づくりを通した地域コミュニティ活動の活性化への支援	1	お互いさまネット石山	高齢化によって発生する地域の問題を把握し、地域を中心にした支え合いのまちづくりを目指す。	総合	3 連続講	6月	午前			○	○	石山管内4コミュニティ協議会（中野山・東中野山・南中野山・江南小学校区コミ協）
	2	ご近所だんぎ	地域課題をテーマとして取り上げ、学習・話し合いを行うことで、地域で支えあうまちづくりについて考えるきっかけとする。	総合	5 自由参加	通年	午後				○	ご近所だんぎ世話人（東区地域住民）
	3	あなたと探るまちの魅力	地域の歴史や文化を学び、地域への関心を高め理解を深める機会とする。	総合	2 自由参加	10月	午後				○	活動協力員
	4	「すごぼり」の桜並木を歩こう	コミュニティ協議会等と連携し、すごぼりの桜並木の散策・ゴミ拾いを通じて、地域コミュニティ活動の活性化及び地域の子どもとおとなの交流及び環境美化意識を深める機会とする。	総合	1 自由参加	4月	午前		○	○		
2　家庭における教育力向上の支援	5	児童期家庭教育学級	児童期の子を持つ保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる連続講座を開催する。	成人	2	9月	午前				○	
	6	子育てサロン「ぴーかーぶー」	子育て中の保護者の情報交換や仲間づくりを目的とし、0歳からの未就園児の親子の遊び場を提供する。また地域での子育てを支援するボランティアスタッフを育てる。	総合	10 自由参加	通年 （4金） 12・3月休	午前				○	子育てサロンボランティアスタッフ
	7	子育てサロン「いちごランド」	保育室を使い、0歳から未就園児までの親子の居場所と情報交換や仲間づくりの場とする。	総合	11 自由参加	通年 （1火） 4月休	午前				○	ぐりとぐら、子育てサロンボランティアスタッフ
3　青少年の生き抜く力を育む機会の充実	8	石山あそび隊 （夏休み期間中に開催）	体験活動を通して子どもたちの豊かな心を育み、交流できる機会を提供する。	少年	1	7月	午後				○	活動協力員
	9	冬休み子ども体験	体験活動を通して子どもたちの豊かな心を育み、交流できる機会を提供する。	少年	1	12月	午後				○	活動協力員
	10	コミュニケーション力アップセミナー	中学生を対象に、円滑な社会生活を送るうえで欠かすことのできないコミュニケーションスキルの向上に目を向けた講座を実施する。	少年	2	10・11月	午後		○			石山中学校
	11	石山中学校合唱発表会	石山地区公民館定期利用団体が石山中学校合唱発表会の審査・講評を行い、地域と学校の連携を図る。	少年	1	10月	午前		○			石山中学校、石山地区公民館合唱サークル
	12	青少年の居場所づくり	公民館の談話室を子どもたちが安心して遊びや勉強等ができる「居場所」として提供し、交流できる機会を提供する。	総合	自由利用	通年	午前・午後・夜間					
	13	学習室開放事業	公民館の1室を学習室として開放し、個人学習の支援を図る。	少年	自由利用	通年	午前・午後・夜間					
4　高齢者の学習支援や社会参加の促進	14	高齢者応援事業	高齢者の生活に役立つ知識（健康づくり・生きがい等）を習得するための講座を開催し、地域社会との繋がりを保ちながら生き生きとした生活を送れるよう支援する。	高齢者	2	11月	午前					
	15	スマホ講座	高齢者の生活に役立つ知識（健康づくり・生きがい等）を習得するための講座を開催し、地域社会との繋がりを保ちながら生き生きとした生活を送れるよう支援する。	高齢者	3	7～8月	午後				○	活動協力員

令和6年度事業計画　 石山地区公民館

石山地区公民館

資料２－２

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	回数	実施予定月	時間帯	連携				備考
								市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運審委員・活動協力員・ボランティア	
5 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供	16	人権に関する講座	全ての人が尊重され、お互いの大切さを認めあうために、人権に関する学習機会を提供する。	成人	1	1月	午前				○	
	17	いしやま寄席	日本語文化に触れる機会と笑いによる健康づくりの機会を提供するとともに、自主的活動を支援し、将来に向けた人材の育成を図る。	成人	2	5・11月	午後				○	新潟落語会
6 その他	18	公民館へいってみよう！	住民の公民館デビューのきっかけづくり、公民館定期利用団体（サークル）の活性化を目的に、サークル体験会を開催する。	総合		3月	午前・午後・夜間					
	19	石山地区公民館文化祭（展示部門）	定期利用団体の作品展示を通じ、学習の成果を地域に発表することで学びの還元も図る。	総合	1 自由参加	9月	午前・午後・夜間		○		○	
	20	東区公民館音楽芸能発表会	中地区公民館と合同で、定期利用団体の音楽芸能の発表会を通じ、学習の成果を地域に発表することで学びの還元も図る。	総合	1 自由参加	10月	午前・午後				○	
	21	石山地区野球大会	野球大会を通じ、健康増進をはかり、石山地区管内で活動する団体の親睦・交流・連帯意識を深める機会とする。	総合	7	6～8月	午前・午後			○		石山地区野球連盟
	22	自主グループ育成事業	事業共催により、自主グループの活動育成と支援を図る。	総合		随時	午前・午後					
合計					45							